

士別市立病院経営改革プラン実績報告書

〔平成 20～26 年度実施分〕

平成 27 年 7 月

士 別 市

1. 市立病院経営改革プラン実施概要

「土別市立病院経営改革プラン」につきましては、20年度に策定しましたが、医師及び看護師不足の影響から、プランと決算が大きく乖離していることから、平成23年3月に一部見直しし、新たなプランに基づき病院経営を行ったところであります。

26年度の具体的取組項目については49項目となり、取組状況は、一部実施も含め46項目について実施し、実施率は93.9%となりました。

主な取組内容は、「医師確保対策」については機関紙広告掲載、有料ホームページ広告など医師募集を図ったところでは、さらには道内医育大学医局を訪問するなど出張医の確保にも努め、継続して埼玉医科大学国際医療センターからは定期的な出張医を確保することができました。しかし、大学医局体制の変更により年度末をもって整形外科常勤医が1名減となりました。

「看護師確保」につきましては、新規に2名に対して修学資金を貸付けるとともに、9名の新規確保を図り27年4月1日現在では122名と前年より4名の増となりました。また、他医療機関における看護師従事経験者の確保を容易にするため看護師研究資金貸付制度を創設したところです。

「病棟運営」に当たっては、4月に診療報酬改定が実施され、平均在院日数の取り扱いの変更や、重症度、医療・看護必要度の見直しなど一般病床の運営に大きな影響を受ける中、近年の高齢化に伴い慢性期の患者が急速に増加しており、今後も慢性期医療の需要が高まることが見込まれていることから、10月に療養病棟を再開し、2月からは一般病棟120床、療養病棟30床で経営をいたしました。

また、在宅医療を充実するため、訪問看護師を1名増員し、また、訪問診療体制を確保するなど今後の地域医療のニーズに見合った体制づくりを進めました。

「センター病院との広域・連携」につきましては、道北4病院による道北北部医療連携協議会によるポラリスネットワークを救急診療業務で運用するほか、参照型医療機関の拡大と、診療情報の共有、連携の推進を図るため検討を進めました。

2. 市立病院経営改革プラン26年度実施状況

区 分	継続実施		実 施		一部実施		検 討		未着手		計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①市民に信頼される医療の提供を目指して	3		7	11	2	2	6			1	18	18
②市民に親しまれる病院を目指して	3	3	2	2							5	5
③経営の改善(1)一般事項	1	1	3	3			1	1			5	5
③経営の改善(2)収入	3	3	7	7			1	1			11	11
③経営の改善(3)支出	3	3	7	7							10	10
計	13	14	26	30	2	2	8	2		1	49	49

実施件数 46 件（実施率 93.9%）

※上記の表には具体的取組項目で細分化して設定した5の取組項目についても含みます。

3. 改革プランの数値目標

改革プランを着実に達成するために、平成26年度の数値目標を設定し経営の改善を進めてまいりました。

項 目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度(変更後目標)
経常収支比率(%)		86.8	113.3	96.5	96.5	95.6	96.9	96.6	99.1	96.7
医業収支比率(%)		84.2	86.3	88.2	81.7	83.1	83.9	80.6	79.9	88.1
職員給与対医業収益比率(%)		55.1	51.1	50.0	51.2	52.0	52.1	53.0	55.5	48.2
不良債務比率(%)		39.9	—	—	—	—	—	—	0.5	△0.8
病床利用率	一般病棟(%)	65.4	67.5	72.2	65.8	61.2	58.7	61.9	56.7	73.7
	療養病棟(%)	84.2	93.2	86.9	62.3	63.8	16.2	0.0	41.7	90.0
	計(%)	67.5	70.6	74.1	65.4	61.5	54.5	55.7	54.8	75.4
入院	一般病棟診療単価(円)	32,630	32,172	32,930	32,131	35,297	37,126	37,246	38,222	30,800
	療養病棟診療単価(円)	12,414	13,328	13,365	13,149	13,348	14,301	0	16,371	13,400
	計(円)	29,837	29,109	29,939	29,771	32,943	36,445	37,246	36,133	28,712
外来診療単価(円)		6,446	6,870	7,162	7,137	7,323	7,591	7,892	8,102	7,160

4.具体的取組項目

①市民に信頼される医療の提供を目指して

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
1	医師の確保対策	<p>常勤医師不足は深刻の度を深めていることから、これまで以上に医師確保に努めるとともに、医師を減らさないことにも万全を期します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学医局に対する働きかけの強化 ・インターネットを活用した募集 ・女性医師確保に向けた対応 ・民間医師紹介業者を通じた医師の確保 ・知己等を活用した医師の確保 	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年10月に「医師・研修医・看護師確保対策プロジェクトチーム」を立ち上げ対策を講じました。 ・大学医局に対しては年2～3回訪問するとともに、医局全体の懇談会に可能な限り参加しました。 ・従来まで病院ホームページで医師募集を行っていたが、リニューアルするとともに、市のホームページにも医師募集を貼り付けました。 ・女性医師確保のため、「女性休憩室」の設置（4月） ・インターネット求人広告の掲載（12月） ・市民に対して情報の提供を求めました。（11～3月） ⇒医師確保状況 消化器内科医 1名（H21.2） ・医師修学資金等貸付制度の創設 貸付金額を月額30万円とし、貸付期間と同じだけ病院に勤務すると全額免除する制度を設けました。 <p>(21年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の確保 消化器内科医2名、一般内科医1名 ・医師修学資金の新規貸付 医科大学生2名 <p>(22年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師修学資金を新規で1名追加し、計3名に貸付けしました。 ・インターネット求人広告の掲載（10月から6ヶ月間） 	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(23年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師修学資金3名に継続して貸付けしました。 ・20年に立ち上げた「医師・研修医・看護師確保対策プロジェクトチーム」を解散し、5月に立ち上げた経営戦略室で医師確保対策を集中して行うこととしました。 <p>(24年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の確保 循環器内科医2名、健診センター専従医1名 ・医師修学資金3名に継続して貸付けしました。 ・大学医局訪問の実施 <p>(25年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の確保 消化器内科医1名(7月～12月勤務) ・医師募集新聞広告 3回(道外版9/24、10/11、11/21) ・医師修学資金2名に継続して貸付け、1名貸付終了。 ・大学医局訪問の実施 <p>(26年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師募集広告 北海道医報3回、医師募集サイト掲載広告 ・医師修学資金1名に継続して貸付け、2名貸付終了。 ・大学医局訪問の実施、民間臨床研修病院訪問 							
2	医師の勤務状況の改善	<p>医師の勤務状況が過重となっていることから、その抑制に向けた対策を講じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務補助職員配置による医師業務の軽減対策 ・医師の超過勤務の抑制対策 ・いわゆるコンビニ受診(注3)の抑制対策 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事務補助職員2名雇用(H20.4.1～H21.3.31) ・広報しべつや病院改革プランの説明会等を通じてコンビニ受診抑制の啓発を行いました。 ・医師の待遇改善のため、「診療手当」を創設しました。 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21年4月分から診療手当の支給を開始しました。 ・21年8月、報道機関を通じてコンビニ受診の抑制を周知。 <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療手当支給内容の変更(23年6月支給分より変更) 診療報酬総額の0.8%から1.0%へ変更 均等配分 1/3 → 1/4 傾斜配分 2/3 → 3/4 ・内科的疾患患者の外科での診療取り止め(H23.4.1から実施のための周知を行いました。) ・内科時間外診療の抑制(広報紙、マスコミを通じて市民周知(H22.11)) <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事務作業補助体制加算の取得(50:1の取得)(H23.5.16) <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務補助職員配置による医師業務の軽減対策等の継続 <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務補助職員配置による医師業務の軽減対策等の継続 ・特殊勤務手当等の改正(H26.4.1施行) <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ受診の抑制周知(市広報9月号) 							
3	臨床研修医の確保	平成19年9月に臨床研修病院に指定されていることから、臨床研修医の確保に努めます。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修病院合同説明会への参加(平成20年4月13日) ・病院ホームページへの臨床研修医募集掲載 ・臨床研修指導医養成講習会参加(1名) ・臨床医に対する修学資金等貸付制度の創設(21年4月1日より施行) (市立病院で臨床研修を行う場合又は3医育大学で研修し、地域研修を市立病院で行う場合は、5万円増の30万円とする。) 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度												
			20	21	22	23	24	25	26						
		<p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 21年9月1日省令改正に関連して、管理型臨床研修病院の指定取り消し 臨床研修協力施設の指定 <ul style="list-style-type: none"> 21年3月16日 札幌医科大学病院 21年6月23日 北海道大学病院 21年6月24日 旭川医科大学病院 <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域保健医療研修受入 (H22.6から1ヶ月間) 北大臨床研修医 1名 (H23.1から1ヶ月間) 北大臨床研修医 1名 <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域保健医療研修受入 (H24.1から1ヶ月間) 北大臨床研修医 1名 <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域保健医療研修受入 (H24.9から1ヶ月間) 北大臨床研修医 1名 <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域保健医療研修受入 研修医の都合により中止 <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域保健医療研修受入 (H26.9から1ヶ月間) 北大臨床研修医 1名 													
		看護師不足が深刻化していることから、入院病棟の看護体制10:1が維持できるよう看護師の確保を図ります。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
4	看護師の確保	<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師合同就職説明会への参加 広報しべつを活用した求人案内及びインターネットホームページでの求人案内の実施 医師同様、市民から情報提供を求めました <p>看護職数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H20.4.1 現在(A)</th> <th>H21.4.1 現在(B)</th> <th>差引(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>143</td> <td>130</td> <td>△13</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規採用 10名 退職等 △23名</p>	H20.4.1 現在(A)	H21.4.1 現在(B)	差引(B)-(A)	143	130	△13	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
H20.4.1 現在(A)	H21.4.1 現在(B)	差引(B)-(A)													
143	130	△13													

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																		
			20	21	22	23	24	25	26												
		<p>(21 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭川市内を含めた高校等訪問(修学資金貸付関連)、看護学校、看護大学訪問 合同就職説明会の参加 広報しべつを活用した求人案内及びインターネットホームページでの求人案内の実施 広報しべつ 1 月号で市民からの情報提供を求める。 看護師修学資金の条例改正(6 月定例会) 看護専門学校生の貸付金 5 万円→7 万円 病院見学会の開催 5 名参加 1 日看護体験 27 人参加・「生活スタイル」に合わせた勤務形態の活用による臨時看護師等の雇用 <p>看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21.4.1 現在(A)</th> <th>H22.4.1 現在 (B)</th> <th>差引 (B) -(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>123</td> <td>△7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">新規採用 7 名 退職等 △14 名</p> <p>(22 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院見学会の開催 10 名参加 1 日看護体験 17 人参加 看護師修学資金を 9 名に新規貸し付けしました。 看護学校訪問 看護師確保のための説明会への参加 <p>看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22.4.1 現在(A)</th> <th>H23.4.1 現在 (B)</th> <th>差引 (B) -(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>123</td> <td>116</td> <td>△7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">新規採用 8 名 退職等 △15 名</p>	H21.4.1 現在(A)	H22.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)	130	123	△7	H22.4.1 現在(A)	H23.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)	123	116	△7							
H21.4.1 現在(A)	H22.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)																			
130	123	△7																			
H22.4.1 現在(A)	H23.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)																			
123	116	△7																			

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																		
			20	21	22	23	24	25	26												
		<p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日看護体験 18人参加 ・ 看護師修学資金を6名に新規貸し付けしました。 ・ 看護学校訪問 ・ 看護師確保のための説明会への参加 ・ 院長・看護部長名による退職看護師への手紙送付 ・ フリーペーパー（注11）（ライナー旭川）活用による求人広告提供 ・ 地元新聞による求人広告提供 <p>看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23.4.1 現在(A)</th> <th>H24.4.1 現在(B)</th> <th>差引(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116</td> <td>111</td> <td>△5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">規採用 9名 退職等 △14名</p> <p>24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日看護体験 17名参加 ・ 看護師修学資金を12名に新規貸し付けしました。 ・ 看護学校訪問 ・ 看護師確保のための説明会への参加 ・ 育児休業者への早期職場復帰依頼と環境確保（短時勤務等） <p>看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24.4.1 現在(A)</th> <th>H25.4.1 現在(B)</th> <th>差引(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>111</td> <td>118</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">新規採用 12名 退職等 △5名</p> <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日看護体験 26名参加 ・ 看護師修学資金を4名に新規貸し付けしました。 ・ 看護学校訪問 ・ 看護師確保のための説明会への参加 	H23.4.1 現在(A)	H24.4.1 現在(B)	差引(B)-(A)	116	111	△5	H24.4.1 現在(A)	H25.4.1 現在(B)	差引(B)-(A)	111	118	7							
H23.4.1 現在(A)	H24.4.1 現在(B)	差引(B)-(A)																			
116	111	△5																			
H24.4.1 現在(A)	H25.4.1 現在(B)	差引(B)-(A)																			
111	118	7																			

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度												
			20	21	22	23	24	25	26						
		<ul style="list-style-type: none"> • 育児休業者への早期職場復帰依頼と環境確保（短時勤務等） • 看護師募集新聞広告（全道版 10/27） • 看護師研究資金貸付制度（80万円）の新設（H26.4.1 施行） 看護師数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H25.4.1 現在(A)</td> <td>H26.4.1 現在 (B)</td> <td>差引 (B) -(A)</td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>118</td> <td>-</td> </tr> </table> 新規採用 13名 退職等 △13名	H25.4.1 現在(A)	H26.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)	118	118	-							
H25.4.1 現在(A)	H26.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)													
118	118	-													
		<u>26年度実績</u> <ul style="list-style-type: none"> • 1日看護体験 7名参加 • 看護師修学資金を2名に新規貸し付けしました。 • 看護学校訪問 • 看護師確保のための説明会への参加 • 育児休業者への早期職場復帰依頼と環境確保（短時勤務等） 看護師数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H26.4.1 現在(A)</td> <td>H27.4.1 現在 (B)</td> <td>差引 (B) -(A)</td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>122</td> <td>4</td> </tr> </table> 新規採用 9名 退職等 △ 5名	H26.4.1 現在(A)	H27.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)	118	122	4							
H26.4.1 現在(A)	H27.4.1 現在 (B)	差引 (B) -(A)													
118	122	4													
5	専門外来の開設	病院が有する医療資源を活用し、専門外来を開設します。 <ul style="list-style-type: none"> • 脊椎専門外来の開設 • 療養診療外来の開設 • 呼吸器専門外来の開設 	一部 継続 実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						
		<u>(20年度実績)</u> <ul style="list-style-type: none"> • 脊椎専門外来の開設（H20.2.5より週2日診療） 患者数 130人 収益 5,320千円 • 療養診療科外来の開設（H20.3.3より週3日診療） 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度							
			20	21	22	23	24	25	26	
		患者数 2,706人 収益 5,445千円 ・呼吸器専門外来の開設（H20.7.1より週1日診療） 患者数 1,611人 収益 19,700千円 (21年度実績) ・禁煙外来の開設（H21.6.23より週1日診療） 患者数 28人 収益 516千円 (22年度実績) ・ストーマ(注12)外来の開設（H22.5.12より毎週1回開設） ・禁煙外来の中断（H22.12より薬品不足のため） (23年度実績) ・禁煙外来の再開(H23.4.22)及び取り止め(H24.2.24) (24年度実績) ・ペースメーカー外来の開設（H24.9より第3火曜日） (25年度実績) ・スキンケア外来の開設（H25.7より毎週1回開設） (26年度実績) ・脊椎専門外来の中止（H26.4.1） ・母乳育児外来の周知（H26.9.1）								
		医師及び医療スタッフの特徴を生かすため、内視鏡センターの機能強化について検討します。	検 討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
6	内視鏡センターの拡大	(20年度実績) ・H21.1 内視鏡センター拡張プロジェクトチーム設置 ・H21.3.24 「内視鏡センター拡張工事」契約 (21年度実績) ・H21.5.13 新たな内視鏡センター稼動開始 画像診断装置2台(内1台は超音波内視鏡を組み込む) 2ベット体制で運用 ・PEG（注10）センターの立ち上げ ・H21.12.1 日本内視鏡学会の「指導施設」に認定されました。	実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																							
			20	21	22	23	24	25	26																	
		稼動状況 (単位：件、千円)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>20年度 A</th> <th>21年度 B</th> <th>差引 B-A</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>2,266</td> <td>3,522</td> <td>1,256</td> <td>55.4%</td> </tr> <tr> <td>診療収入</td> <td>53,721</td> <td>91,460</td> <td>37,739</td> <td>70.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	20年度 A	21年度 B	差引 B-A	増減率	件 数	2,266	3,522	1,256	55.4%	診療収入	53,721	91,460	37,739	70.2%									
区 分	20年度 A	21年度 B	差引 B-A	増減率																						
件 数	2,266	3,522	1,256	55.4%																						
診療収入	53,721	91,460	37,739	70.2%																						
		<p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22.4 早期がん内視鏡治療の医師充実 常勤の内視鏡専門医に加え、出張による専門医の増加を図りました。 ・H22.4 カプセル内視鏡開始 ・H23.1 小腸内視鏡開始 																								
		稼動状況 (単位：件、千円)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21年度 A</th> <th>22年度 B</th> <th>差引 B-A</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>3,522</td> <td>3,816</td> <td>294</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>診療収入</td> <td>91,460</td> <td>101,747</td> <td>10,287</td> <td>11.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21年度 A	22年度 B	差引 B-A	増減率	件 数	3,522	3,816	294	8.4%	診療収入	91,460	101,747	10,287	11.2%									
区 分	21年度 A	22年度 B	差引 B-A	増減率																						
件 数	3,522	3,816	294	8.4%																						
診療収入	91,460	101,747	10,287	11.2%																						
		<p>(23年度実績)</p>																								
		稼動状況 (単位：件、千円)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22年度 A</th> <th>23年度 B</th> <th>差引 B-A</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>3,816</td> <td>3,466</td> <td>△350</td> <td>△9.2%</td> </tr> <tr> <td>診療収入</td> <td>101,747</td> <td>83,713</td> <td>△18,034</td> <td>△17.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22年度 A	23年度 B	差引 B-A	増減率	件 数	3,816	3,466	△350	△9.2%	診療収入	101,747	83,713	△18,034	△17.7%									
区 分	22年度 A	23年度 B	差引 B-A	増減率																						
件 数	3,816	3,466	△350	△9.2%																						
診療収入	101,747	83,713	△18,034	△17.7%																						

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																																			
			20	21	22	23	24	25	26																																													
		<p>(24年度実績)</p> <p>稼動状況 (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23年度 A</th> <th>24年度 B</th> <th>差引 B-A</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>3,466</td> <td>2,734</td> <td>△732</td> <td>△21.1%</td> </tr> <tr> <td>診療収入</td> <td>83,713</td> <td>68,968</td> <td>△14,745</td> <td>△17.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(25年度実績)</p> <p>稼動状況 (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>24年度 A</th> <th>25年度 B</th> <th>差引 B-A</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>2,734</td> <td>2,621</td> <td>△113</td> <td>△4.1%</td> </tr> <tr> <td>診療収入</td> <td>68,968</td> <td>70,590</td> <td>1,622</td> <td>2.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(26年度実績)</p> <p>稼動状況 (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>25年度 A</th> <th>26年度 B</th> <th>差引 B-A</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>2,621</td> <td>2,460</td> <td>△161</td> <td>△6.1%</td> </tr> <tr> <td>診療収入</td> <td>70,590</td> <td>69,227</td> <td>△1,363</td> <td>△1.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23年度 A	24年度 B	差引 B-A	増減率	件 数	3,466	2,734	△732	△21.1%	診療収入	83,713	68,968	△14,745	△17.6%	区 分	24年度 A	25年度 B	差引 B-A	増減率	件 数	2,734	2,621	△113	△4.1%	診療収入	68,968	70,590	1,622	2.4%	区 分	25年度 A	26年度 B	差引 B-A	増減率	件 数	2,621	2,460	△161	△6.1%	診療収入	70,590	69,227	△1,363	△1.9%							
区 分	23年度 A	24年度 B	差引 B-A	増減率																																																		
件 数	3,466	2,734	△732	△21.1%																																																		
診療収入	83,713	68,968	△14,745	△17.6%																																																		
区 分	24年度 A	25年度 B	差引 B-A	増減率																																																		
件 数	2,734	2,621	△113	△4.1%																																																		
診療収入	68,968	70,590	1,622	2.4%																																																		
区 分	25年度 A	26年度 B	差引 B-A	増減率																																																		
件 数	2,621	2,460	△161	△6.1%																																																		
診療収入	70,590	69,227	△1,363	△1.9%																																																		
		平成 19 年に設置した糖尿病センターの充実を図ります。	検 討	実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																												
7	糖尿病センターの充実	<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病教室の開催 (230回開催 参加者 928人) 糖尿病外来誕生日フットケアの開催 (糖尿病合併症足病変の防止のため、外来患者に対する足の手入れ法の指導) <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病教室の開催 (199回開催 参加者 495人) <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病教室の開催 (146回開催 参加者 353人) 	実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																												

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病教室の開催（140回開催 参加者 266人） <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病教室の開催（122回開催 参加者 271人） <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病教室の開催（75回開催 参加者 115人） <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病教室の開催（21回開催 参加者 21人） 							
8	チーム医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・クリティカルパス（注4）の導入を検討し、患者に分かりやすい医療の提供、治療の標準化などによる平均在院日数の短縮などを図ります。 	一部継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻ボタン交換クリティカルパス 4日間 ・大腸内視鏡クリティカルパス 4日間 ・糖尿病クリティカルパス 2又は3週間 	一部継続実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<ul style="list-style-type: none"> ・NST（栄養サポートチーム）（注5）の活用、推進を図ります。 	一部継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・137人にNST介入を図るとともに、採血検査のセット化を行いました。 ・院内NST講習会の開催（月1回） <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NST介入 79人 <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NST介入 57人 <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NST介入 37人 	一部継続実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		(24年度実績) ・NST介入 54人 (25年度実績) ・NST介入 29人 (26年度実績) ・NST介入 32人							
9	在宅医療の充実	医療依存度の高い患者さんの退院を積極的に支援し、在宅医療の拡大について検討します。	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		(20~26年度実績) ・在宅医療の啓蒙、地域イベント（ふれあい広場）への参加 ・病状に合わせた訪問回数、診療時間の調整、訪問診療・往診の実施 平成26年度訪問診療 93件	一部実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	実施
		訪問診療及び訪問看護業務の24時間体制の検討				検討	⇒	⇒	⇒
		(23~26年度実績) ・訪問看護業務について24時間体制で実施(H23.4.1から) 平成26年度訪問看護件数 3,663件				実施	⇒	⇒	⇒
10	健診体制の充実	予防医療を推進するため、メタボリック健診及び脳ドック等の充実を目指します。	一部実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		(20年度実績) ・人間ドックの健診枠の拡大(H20.4.1より11人枠を15人枠へ) ・内臓脂肪CT検査の開始(H20.10.1) 実施件数118件 ・特定健康診査にオプションを加えた「生き生き健康チェック」の検討 ・人間ドックに併設したオプション検査のセット化の検討 (21年度実績) ・特定健診とセット化した「生き生き健康チェック」の実施(H21.4.1) ・オプション検査のセット化(H21.4.1) ・脳ドックの開設(H21.12.1)	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致企業の節目健診(H22.4) <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診業務専任医師導入の検討 <p>(24~25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診業務専任医師導入 							
11	医療安全体制の充実	<p>平成19年6月に医療安全管理委員会を立ち上げるとともに、マニュアル(手引書)の見直しを行なったが、今後ともインシデント(注6)(ヒヤリ・ハット)、アクシデント(注7)等の事例検証と分析等によるソフト・ハードの両面からの改善や医療安全研修の充実を図ります。</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理マニュアル、暴言・暴力対応マニュアル等の見直し ・医療安全管理職員研修の実施 <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者行動制限及び事故報告書の見直し <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KYT(危険予知)トレーニングの講演実施 36名参加 (H23.2.17開催) <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟入院患者へのリストバンド導入 (H23.7.4) ・弁護士講演会「医療従事者の責任」49名参加 (H24.3.5) <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士講演会「診療契約について」40名参加 (H25.3.18) <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AED使用研修会 95名参加 (H26.9.2・12) ・ハイリスク薬の適正使用と医療安全研修会 29名参加 (H26.3.6) <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会「転倒転落後の対策について」 66名参加 (H26.10.20) 	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
12	医療スタッフの資質向上	医療スタッフの資質向上のため、看護師やコメディカル（注8）部門の専門資格取得を促し、病院の医療水準の向上と職員の意欲の向上を図ります。	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師資格取得資金貸付制度の創設 100万円を限度に資金の貸付けを行います。 <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得者院長表彰 4名 <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得者院長表彰 5名 <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得者院長表彰 3名 	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
13	病院機能評価の受審	病院の優れている点や改善すべき点を把握し、医療の質の向上とサービスの充実を目指して病院機能評価の受審を目指します。	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20~26年度実績)</p> <p>新たな経費の増となるため未着手となっています。</p>	未着手	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
14	高度医療機器の計画的整備	高度医療機器の購入にあっては、今後の患者の動向や医療ニーズに適したものを選定するなど、計画的に整備を進めます。	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <p>21年度導入予定医療機器の検討</p> <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 磁気共鳴診断撮影装置（MRI）1.5Tの導入 114,975千円 アルゴンレーザー光凝固装置 3,150千円 眼底カメラ 2,835千円 ほか <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波診断装置 16,905千円 調剤支援システム 13,440千円 ほか 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルX線テレビシステム 19,110千円 全身麻酔装置 5,244千円 ほか <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道北北部連携ネットワーク(含PACS) 64,043千円 万能手術台 14,921千円 ほか <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器用超音波画像診断装置 24,150千円 大動脈バルーンポンプ 9,975千円 ほか <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内視鏡システム 41,600千円 検査機器総合システム(血液・尿・免疫分析装置) 25,500千円 光干渉断層計(眼底三次元画像解析装置) 10,800千円 モバイルCアーム(外科用イメージX線装置) 10,700千円 ほか 							
		北海道が策定した「自治体病院広域化・連携構想」及び「公立病院改革ガイドライン」の趣旨を踏まえ、センター病院である名寄市立総合病院との広域化・連携について検討を図ります。	検 討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
15	センター病院との広域化・連携の検討	<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「上川北部自治体病院等広域化・連携検討会議」で検討したが、具体的なことは今後となります。 <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き「上川北部自治体病院等広域化・連携検討会議」を通じて、検討しているが、具体的なことは今後となります。 <p>(22～23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「上川北部自治体病院等広域化・連携検討会議」を中心に検討することとしていますが、具体的な検討には至っておりません。 <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 名寄保健所が中心となって「自治体病院等広域化・連携構想上川北部地域行動計画」が12月に策定され、ITネットワーク化による医療連携、 	検 討	⇒	⇒	⇒	一 部 実 施	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																																										
			20	21	22	23	24	25	26																																																				
		<p>名寄市立総合病院における救急医療機能の強化など地域医療の課題解決に向けた取組を行うこととされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道北4病院による道北北部医療連携協議会を設置し、診療情報を共有するポラリスネットワークを整備しました。 <p>(25年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急外来診療でポラリスネットワークを運用開始。 <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般診療におけるポラリスネットワークの活用拡大協議 																																																											
16	外来化学療法の推進	<p>今後、患者数の推移を見ながら化学療法室体制の充実を図ります。</p>				検 討	⇒	⇒	⇒																																																				
		<p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に呼吸器内科医2名減の影響もあり、22年度より取扱い件数が減りましたが、引き続き推進します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">22年度 A</th> <th colspan="2">23年度 B</th> <th colspan="2">差引 B-A</th> </tr> <tr> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>172</td> <td>282</td> <td>82</td> <td>158</td> <td>△90</td> <td>△124</td> </tr> <tr> <td>実請求件数</td> <td>159</td> <td>215</td> <td>44</td> <td>131</td> <td>△115</td> <td>△84</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件、人)</p> <p>(24年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">23年度 A</th> <th colspan="2">24年度 B</th> <th colspan="2">差引 B-A</th> </tr> <tr> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>82</td> <td>158</td> <td>84</td> <td>211</td> <td>2</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>実請求件数</td> <td>44</td> <td>131</td> <td>76</td> <td>171</td> <td>32</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件、人)</p>	区 分	22年度 A		23年度 B		差引 B-A		入院	外来	入院	外来	入院	外来	化学療法件数	172	282	82	158	△90	△124	実請求件数	159	215	44	131	△115	△84	区 分	23年度 A		24年度 B		差引 B-A		入院	外来	入院	外来	入院	外来	化学療法件数	82	158	84	211	2	53	実請求件数	44	131	76	171	32	40				一 部 実 施	⇒
区 分	22年度 A			23年度 B		差引 B-A																																																							
	入院	外来	入院	外来	入院	外来																																																							
化学療法件数	172	282	82	158	△90	△124																																																							
実請求件数	159	215	44	131	△115	△84																																																							
区 分	23年度 A		24年度 B		差引 B-A																																																								
	入院	外来	入院	外来	入院	外来																																																							
化学療法件数	82	158	84	211	2	53																																																							
実請求件数	44	131	76	171	32	40																																																							

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																																												
			20	21	22	23	24	25	26																																																						
		<p>(25年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">24年度 A</th> <th colspan="2">25年度 B</th> <th colspan="2">差引 B-A</th> </tr> <tr> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>84</td> <td>211</td> <td>34</td> <td>453</td> <td>△50</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>実請求件数</td> <td>76</td> <td>171</td> <td>34</td> <td>352</td> <td>△42</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件、人)</p> <p>(26年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">25年度 A</th> <th colspan="2">26年度 B</th> <th colspan="2">差引 B-A</th> </tr> <tr> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>34</td> <td>453</td> <td>26</td> <td>234</td> <td>△8</td> <td>△219</td> </tr> <tr> <td>実請求件数</td> <td>34</td> <td>352</td> <td>26</td> <td>185</td> <td>△8</td> <td>△167</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件、人)</p>	区 分	24年度 A		25年度 B		差引 B-A		入院	外来	入院	外来	入院	外来	化学療法件数	84	211	34	453	△50	242	実請求件数	76	171	34	352	△42	181	区 分	25年度 A		26年度 B		差引 B-A		入院	外来	入院	外来	入院	外来	化学療法件数	34	453	26	234	△8	△219	実請求件数	34	352	26	185	△8	△167							
区 分	24年度 A			25年度 B		差引 B-A																																																									
	入院	外来	入院	外来	入院	外来																																																									
化学療法件数	84	211	34	453	△50	242																																																									
実請求件数	76	171	34	352	△42	181																																																									
区 分	25年度 A		26年度 B		差引 B-A																																																										
	入院	外来	入院	外来	入院	外来																																																									
化学療法件数	34	453	26	234	△8	△219																																																									
実請求件数	34	352	26	185	△8	△167																																																									
17	介護老人福祉施設・介護老人保健施設の検討	<p>療養病床を含めた中で、今後の患者動向を踏まえ医療ニーズに適した施設の検討を図ります。</p> <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院内における介護福祉施設などの設置について、市内に介護施設などが充実してきていること、経営改善のためには休床病床の早期再開を目指す必要があることなどから、現在の状況下では設置しないとの検討結果にいたしました。 				検 討																																																									
						検 討																																																									

②市民に親しまれる病院を目指して

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
1	外来診療待ち時間の改善	<p>待ち時間の多い部門の業務見直しなどを図り、可能な限り待ち時間の短縮に努めます。</p> <p>(20年度実績) 具体的な検討は今後となります。</p> <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来待ち時間アンケートの実施（H22.1.18～22 5日間） 患者数 3,121人 回答者 617人 回答率 19.8% ・病院内の業務改善委員会で外来待ち時間改善の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の診療時間の繰上げ ・待ち時間が長い患者への声かけ ・遠方の患者に対して、交通機関の時間を配慮した予約の設定 ・待合所の改善 <p>などが検討され、可能なものから実施に移します。</p> <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来診療開始時間を15分繰り上げし、午前8時45分としました。（専門外来、特殊外来、出張医対応の外来は除く）（H22.4.19） <p>(23年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間が長い患者への声かけなどについて改めて確認するとともに、23年6月に実施した職員等からの経営改善に向けた提案について検討し、可能なものから実施を目指しました。 <p>(24年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階外来待合室にテレビ設置（2台） <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者アンケートの実施（H26.7.14～18 5日間） 回答聞き取り 117人 外来平均所要時間（来院から会計終了までの所要時間） 2時間11分（内予約 1時間29分） 	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		検討	一部実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
2	広報活動の充実強化	病院について一層市民に知っていただくため広報活動を充実強化させます。 ・病院ホームページの充実 ・院内広報紙の発行 ・「広報しべつ」、地元新聞への医療情報の提供	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		(20年度実績) ・病院ホームページの全面リニューアル(H20.9.1) ・「市立病院だより」の発行 ・「知って得する医学の知識」(道北日報)51回連載 (21年度実績) ・「知って得する医学の知識」13回連載 (22年度実績) 「知って得する医学の知識」の連載は中断し、「広報しべつ」による広報を行いました。 (23年度実績) 「知って得する医学の知識」の道北日報連載の再開(H24.2.19) (24年度実績) ・市民公開講座の開催 8月3日 仙台厚生病院 井上直人 先生 180人参加 10月3日 北大循環病態内科学 筒井裕之 教授 190人参加 ・「知って得する医学の知識」12回連載 (25年度実績) ・市民公開講座の開催 7月22日 北大循環器外科 松居喜郎 教授 183人参加 10月31日 北大循環病態内科学 筒井裕之 教授 130人参加 ・「知って得する医学の知識」12回連載 (26年度実績) ・市民公開講座の開催 10月8日 北大循環病態内科学 筒井裕之 教授 110人参加 ・「知って得する医学の知識」12回連載	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
3	地域との交流	市民と病院の交流の場として、平成11年から毎年「病院フェスタ」(注9)を開催しているが、今後とも継続していくとともに、新たに「病院出前講座」を26のメニューを用意して実施し、市民の健康増進と交流を目指します。	継 続 実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		(20年度実績)	継 続 実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<ul style="list-style-type: none"> 第10回病院フェスタの開催(H20.9.27) 176名来院 テーマ「元気になるコツ!～骨とその関連疾患～」 病院出前講座の開催(H20.6.18から随時開催) 自治会、各種団体、公民館事業等で出前講座を実施 16回開催 参加市民 888名 							
		(21年度実施)							
		<ul style="list-style-type: none"> 第11回病院フェスタの開催(21.9.17) 84名来院 テーマ「内視鏡検査と最新医療」 病院出前講座の開催 自治会、各種団体、公民館事業等で出前講座を実施 12回開催 参加市民 451名 							
(22年度実施)									
<ul style="list-style-type: none"> 第12回病院フェスタの開催(22.9.4) 98名来院 テーマ「楽しく生きるために!～病気の予防について～」 病院出前講座の開催 自治会、各種団体、公民館事業等で出前講座を実施 9回開催 参加市民 337名 									
(23年度実施)	継 続 実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
<ul style="list-style-type: none"> 第13回病院フェスタの開催(23.9.10) 114名来院 テーマ「知って納得!医療制度」 病院出前講座の開催 自治会、各種団体、公民館事業等で出前講座を実施 7回開催 参加市民 159名 									
(24年度実施)									
<ul style="list-style-type: none"> 第14回病院フェスタの開催(24.9.1) 125名来院 									

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		テーマ「心臓と血管について」・病院出前講座の開催 自治会、各種団体、公民館事業等で出前講座を実施 6回開催 参加市民 225名 (25年度実施) ・まなびとくらしのフェスティバルブース参加 (H25.9.28) 「内視鏡・訪問看護・看護師募集」 ・病院出前講座の開催 自治会、各種団体、公民館事業等で出前講座を実施 5回開催 参加市民 215名 (26年度実施) ・まなびとくらしのフェスティバルブース参加 (H26.9.27) 「健康相談・検査画像でわかること」 ・病院出前講座の開催 自治会、各種団体で出前講座を実施 3回開催 参加市民 70名							
4	病院ボランティアの活用	患者さんが少しでも安心して診療が受けれるよう、これまで病院ボランティアや図書ボランティアとして活動をしていただいておりますが、一層の活動強化を図ります。	継 続 実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		(20年度実績) ・病院ボランティア (H20.1.15 から) 2名 病院外来の案内等のボランティア ・図書ボランティア (H20.4.23) 4名 院内貸出し図書等の貸出し・整理ボランティア (21年度実績) ・上記のほかに、病院周辺の環境整備のため、市民、病院職員、病院OB が参加して花壇整備、雑草抜きなどを年2回実施しました。 (22年度実績) ・ボランティア数(H23.4.1 現在) 病院ボランティア 2名	継 続 実 施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項目	取組内容	取組年度						
			20	21	22	23	24	25	26
		図書ボランティア 4名 ・病院花壇整備、周辺清掃・雑草抜きの実施（年2回実施） (23年度実績) ・ボランティア数(H24.4.1 現在) 病院ボランティア 2名 図書ボランティア 4名 ・病院花壇整備、周辺清掃・雑草抜きの実施（年2回実施） ・病院応援隊世話人会へのオブザーバー参加 土別市立病院応援隊設立（H24.4.14 設立総会予定） (24年度実績) ・ボランティア数(H25.4.1 現在) 病院ボランティア 1名、 図書ボランティア 3名 ・土別市立病院応援隊設立（H24.4.14） 花壇整備・駐車場周辺柵のペンキ塗りの実施、市民公開講座・病院 フェスタ支援 (25年度実績) ・ボランティア数(H26.4.1 現在) 病院ボランティア 1名、 図書ボランティア 3名 ・病院応援隊の支援活動 花壇整備・自転車小屋塗装の実施、市民公開講座支援 (26年度実績) ・ボランティア数(H27.4.1 現在) 図書ボランティア 3名 ・病院応援隊の支援活動 花壇整備・外壁・フェンス塗装の実施、市民公開講座支援							
5	職員の接遇の徹底	病院で働く全ての職員（委託業者を含む。）の接遇の向上を図り、市民に親しまれる病院を目指します。 (20年度実績)	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		・10月6日から3月までを「一声かけて円滑に」のテーマのもとに、院	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

	<p>内の接遇向上対策を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターによる啓発、接遇アンケートの実施 <p>(平成 21 年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上川北部医師会主催の「患者接遇に関する研修会」参加 10 名 <p>(平成 22 年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療機関における接遇について」研修会 50 名参加 (H22.11.4 開催) <p>(平成 23 年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において、各部所で接遇向上目標を設定し、主査会議・カンファレンス(注 13)などを通じて向上対策を行いました。 <p>(平成 24 年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において接遇に関する研修会を開催するとともに、各部所で接遇向上目標を設定し、主査会議・カンファレンスなどを通じて向上対策を行いました。 <p>(平成 25 年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において接遇研修開催 (83 名参加 H25.6.20)、主査会議・カンファレンスを通じた向上対策、各部署に接遇係を設置。 <p>(平成 26 年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において接遇研修開催 (96 名参加 H26.10.9)、主査会議・カンファレンスを通じた向上対策、各部署に接遇係を設置。 ・接遇向上「ありがとう」ポスターの作成 							
--	---	--	--	--	--	--	--	--

③経営の改善
 (1) 一般事項

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
1	病院規模の見直し	<p>産婦人科及び小児科の入院中止に伴ない、現在休床扱いしている40床を廃止し、一般病床240床を200床とします。</p> <p>また、医師及び看護師の不足から、当面は一般病床を160床、療養病床30床の計190床の体制で病院運営を図ってまいります。</p>	実施	⇒	⇒				
		<p>(20年度実績)</p> <p>H20.8.1に一般病床数の見直しを行いました。</p> <p>(従前) (H20.8.1)</p> <p>一般病床 240床 (内40床休床) ⇒ 一般病床 200床 (内40床休床)</p> <p>療養病床 30床 ⇒ 療養病床 30床</p> <p>計 270床 (内40床休床) 計 230床 (内40床休床)</p> <p>実質190床体制で運営</p>	実施	⇒	⇒				
		<p>プラン作成時に病床数の見直しを行いました。依然として医師及び看護師不足の影響から、一般病床を179床、療養病床20床の計199床とします。</p> <p>また、当面は一般病床を150床、療養病床20床の計170床の体制で病院運営を図って参ります。</p>				実施	⇒	⇒	⇒
		<p>(23年度実績)</p> <p>平成23年4月1日より、実質的な病棟運営体制についてこれまでの一般病床を3病棟160床から3病棟150床へ、療養病棟を30床から20床へ変更し、全体で190床から170床とします。</p> <p>許可病床については、平成23年5月1日より一般病床を200床から179床へ、療養病床を30床から20床に変更し、全体を230床から199床へ変更しました。</p> <p>(24年度実績)</p> <p>実質的な病棟運営体制について、8月から循環器内科の入院再開に伴う看護師不足から療養病床20床を休床し、一般病床150床のみとしました。</p>				実施	⇒	⇒	⇒

No.	項目	取組内容	取組年度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(25年度実績)</p> <p>11月に一般病棟を再編し、3病棟144床で運用するとともに12月から亜急性期病床4室16床を開設した。</p> <p>(26年度実績)</p> <p>10月に療養病床(2階東)を30床(実質20床で運用)で再開。合わせて許可病床数を一般169床、療養30床、計199床とした。</p> <p>2月に療養病床(2階東)を30床で運用するため、5階東西病棟を統合し、一般病棟5階60床、4階60床で運用。</p>							
2	地方公営企業法の全部適用の検討	<p>病院は、現在地方公営企業法の財務規程のみ(一部適用)を適用しているが、組織及び職員の身分取り扱いについても適用(全部適用)することにより、企業としてより自由な運営が可能とされていることから地方公営企業法の全部適用について検討します。</p>	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20~23年度実績)</p> <p>制度内容の検討をしたが、具体的な対策はこれからとなります。</p> <p>(24~26年度実績)</p> <p>「一部適用」であっても経営改善に向けなすべきことは同じで、依然として医師・看護師不足が続く中で経営の大きな改善を見込むことは難しく、そうした状況の中で「全部適用」を導入したとしてもそのメリットを見出すことは、現時点において難しく、人事、組織管理部門の事務量の増加などデメリットに対する懸念がほうが多いと判断しました。</p>	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
3	職員全員参加による経営改革の推進	<p>職員に対して経営状況を明らかにすることなどにより、経営に対する意識付けを行い、「業務改善提案」を定期的に求めるとともに、現在設置している「病院改革推進会議」の有効活用を図り、職員全員参加による経営改善の推進を実施します。</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「院内業務見直し」について提案を求める(H20.6.17) <p>33の業務見直し提案を受け、業務改善委員会で検討し、可能なものから見直しを実施しました。</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項目	取組内容	取組年度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<ul style="list-style-type: none"> ・「病院改革推進会議」による職員の参加 15回開催 (21年度実施) ・「病院改革推進会議」の継続実施 11回開催 (22年度実施) ・「病院改革推進会議」を廃止し、新たな体制の構築を目指すこととしました。 (23年度実施) ・平成23年6月から7月にかけて、職員のみならず病院に働く方全員を対象に「病院経営改善」に係る提案を募集し、227名から意見等が寄せられました。経営戦略室で内容を検討し、可能なものから順次具体化しているところであります。 (24年度実施) ・病院決算状況、改革プランの実績についての職員説明会の開催 ・緊急職場集会の開催（院長訓示 改革プランの着実な推進の確認） (25年度実施) ・病院決算状況、改革プランの実績についての職員説明会の開催 ・病棟再編および亜急性期病床開設に関する職員説明会の開催 (26年度実施) ・病院決算状況、改革プランの実績についての職員説明会の開催 ・新たな改革プラン策定に向けた意見聴取、説明会の開催。 							
4	経営感覚に優れた人材の育成	<p>厳しい病院経営を踏まえ、経営感覚に優れた人材を育成するため、医療スタッフの人材を事務・管理部門で活用し、その育成について検討します。</p> <p>(20～22年度実績)</p> <p>具体的な検討は今後となります。</p> <p>(23～26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年5月に経営戦略室を設置し、経営戦略室長（部長職）1名を配置しました。 	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
			検討	⇒	⇒	実施	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
5	民間アドバイザーの活用	<p>民間のコンサルティングを活用することにより、収益改善、コストの適正化について検討します。</p> <p>(23年度実績) H23.8.23～24にかけて、総務省が行っている「地方公営企業経営アドバイザー派遣事業」を活用し、2名のアドバイザーから提言をいただいたところであり、内容を検討する中で、可能なものから順次対策を講じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24.2.10より「病院収支改善コンサルタント業務」を委託し、病院経営改善を目指します。 <p>(24年度実績) 民間の経営コンサルタントによる「病院収支改善」にかかる報告を6月に受けたところであり、この報告に基づき病棟体制のあり方を検証するなか、各種管理加算点数については、24年度診療報酬改定で新設された項目も含め、その体制基準を確認するとともに加算漏れがないように努めました。</p> <p>(25～26年度実績) 前年に受けたコンサルタントの報告を検証するとともに亜急性期病床の開設に取り組んだ。</p>				実施	⇒	⇒	⇒
					実施	⇒	⇒	⇒	

(2) 収入の確保

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																																																											
			20	21	22	23	24	25	26																																																																					
1	病床利用率の向上	病床利用率の数値目標を定め、病床利用の向上を図ります。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																																																					
		(20年度実績)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																																																					
		H20.8.1 に病床の見直しを行い、旧3階東病棟の40床を廃止し、一般病床を240床から200床としましたが、医療スタッフが不足しているため実質病床は190床で対応しています。																																																																												
		19年度以降の病床利用率 (単位:%)																																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">許可病床に対する利用率</th> <th colspan="3">実質病床に対する利用率</th> </tr> <tr> <th>一般病床</th> <th>療養病床</th> <th>計</th> <th>一般病床</th> <th>療養病床</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年度</td> <td>65.4</td> <td>84.2</td> <td>67.5</td> <td>78.5</td> <td>84.2</td> <td>79.2</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>67.5</td> <td>93.2</td> <td>70.6</td> <td>83.1</td> <td>93.2</td> <td>84.5</td> </tr> <tr> <td>21年度</td> <td>72.2</td> <td>86.9</td> <td>74.1</td> <td>90.2</td> <td>86.9</td> <td>89.7</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>65.8</td> <td>62.3</td> <td>65.4</td> <td>82.3</td> <td>62.3</td> <td>79.1</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>61.2</td> <td>63.8</td> <td>61.5</td> <td>73.7</td> <td>66.5</td> <td>72.9</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>58.7</td> <td>16.2</td> <td>54.5</td> <td>70.1</td> <td>48.3</td> <td>69.0</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>61.8</td> <td>-</td> <td>55.7</td> <td>75.1</td> <td>-</td> <td>75.1</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>56.7</td> <td>41.7</td> <td>54.8</td> <td>70.4</td> <td>78.6</td> <td>71.1</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	許可病床に対する利用率			実質病床に対する利用率			一般病床	療養病床	計	一般病床	療養病床	計	19年度	65.4	84.2	67.5	78.5	84.2	79.2	20年度	67.5	93.2	70.6	83.1	93.2	84.5	21年度	72.2	86.9	74.1	90.2	86.9	89.7	22年度	65.8	62.3	65.4	82.3	62.3	79.1	23年度	61.2	63.8	61.5	73.7	66.5	72.9	24年度	58.7	16.2	54.5	70.1	48.3	69.0	25年度	61.8	-	55.7	75.1	-	75.1	26年度	56.7	41.7	54.8	70.4	78.6	71.1
		区 分									許可病床に対する利用率			実質病床に対する利用率																																																																
										一般病床	療養病床	計	一般病床	療養病床	計																																																															
		19年度								65.4	84.2	67.5	78.5	84.2	79.2																																																															
		20年度								67.5	93.2	70.6	83.1	93.2	84.5																																																															
		21年度								72.2	86.9	74.1	90.2	86.9	89.7																																																															
22年度	65.8	62.3								65.4	82.3	62.3	79.1																																																																	
23年度	61.2	63.8	61.5	73.7	66.5	72.9																																																																								
24年度	58.7	16.2	54.5	70.1	48.3	69.0																																																																								
25年度	61.8	-	55.7	75.1	-	75.1																																																																								
26年度	56.7	41.7	54.8	70.4	78.6	71.1																																																																								
(21年度実績)																																																																														
20年8月に一般病棟の病床数を削減した関係もあり、21年度の一般病棟の病床利用率は大きく伸びています。ただ、療養病床では、20年度を下回っております。																																																																														
(22年度実績)																																																																														
一般病床、療養病床とも前年度を下回るとともに、許可病床に対する利用率も70%を切るなど、利用率の改善が必要です。																																																																														
(23年度実績)																																																																														
医師、看護師が不足していることもあり、23年4月から実質運営病床を一般病床で160床から150床へ、療養病床を30床から20床にす																																																																														

No.	項目	取組内容	取組年度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>るとともに、許可病床にあっては23年5月から一般病床を200床から179床へ、療養病床を30床から20床に規模縮小したが、病床利用率は前年度を更に下回る結果となりました。</p> <p>(24年度実績) 療養病床においては8月から休床したことにより許可病床に対する利用率が大きく減少しました。一般病床においては8月から循環器内科の入院が再開となったものの、全体ではそれを上回る減少となりました。</p> <p>(25年度実績) 循環器内科の入院が通年となったため僅かながら患者数が増となり、床利用率は許可病床、運用病床ともに増となった。</p> <p>(26年度実績) 療養病床の再開に伴い長期療養患者の受け入れ態勢は整ったものの一般病床における患者数は減となった。</p>							
2	各種健診の推進	<p>成人病健康診断（人間ドック）を始め、各種健診の拡大を図ります。</p> <p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間ドック健診枠の拡大（H20.4.1） 11人⇒15人 特定健診の開始 901人 5,725千円 内臓脂肪CT検査の開始（H20.10.1） 実施件数118件 特定健康診査にオプションを加えた「生き生き健康チェック」の検討 人間ドックに併設したオプション検査のセット化の検討 <p>(21年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き生き健康チェックの実施（H21.4.1） 人間ドックオプション検査のセット化（H21.4.1） 脳ドックの実施（H21.12.1） <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誘致企業の節目健診の実施（H22.4.1） 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
			実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																																				
			20	21	22	23	24	25	26																																														
		人間ドック実績																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>2,284</td> <td>2,141</td> <td>2,172</td> <td>2,370</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>60,949</td> <td>54,037</td> <td>52,957</td> <td>56,004</td> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> <tr> <td>件数(件)</td> <td>2,400</td> <td>2,401</td> <td>2,235</td> <td>2,139</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>57,675</td> <td>56,349</td> <td>51,298</td> <td>50,780</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	件数(件)	2,284	2,141	2,172	2,370	金額(千円)	60,949	54,037	52,957	56,004	区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	件数(件)	2,400	2,401	2,235	2,139	金額(千円)	57,675	56,349	51,298	50,780																							
区 分	19年度	20年度	21年度	22年度																																																			
件数(件)	2,284	2,141	2,172	2,370																																																			
金額(千円)	60,949	54,037	52,957	56,004																																																			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度																																																			
件数(件)	2,400	2,401	2,235	2,139																																																			
金額(千円)	57,675	56,349	51,298	50,780																																																			
		オプション検査実績																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オプション検査件数(件)</td> <td>2,197</td> <td>2,645</td> <td>2,971</td> <td>2,657</td> </tr> <tr> <td>オプション検査金額(千円)</td> <td>4,832</td> <td>6,345</td> <td>8,995</td> <td>7,287</td> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th></th> </tr> <tr> <td>オプション検査件数(件)</td> <td>2,729</td> <td>2,354</td> <td>2,583</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オプション検査金額(千円)</td> <td>7,316</td> <td>6,395</td> <td>7,323</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	オプション検査件数(件)	2,197	2,645	2,971	2,657	オプション検査金額(千円)	4,832	6,345	8,995	7,287	区 分	24年度	25年度	26年度		オプション検査件数(件)	2,729	2,354	2,583		オプション検査金額(千円)	7,316	6,395	7,323																								
区 分	20年度	21年度	22年度	23年度																																																			
オプション検査件数(件)	2,197	2,645	2,971	2,657																																																			
オプション検査金額(千円)	4,832	6,345	8,995	7,287																																																			
区 分	24年度	25年度	26年度																																																				
オプション検査件数(件)	2,729	2,354	2,583																																																				
オプション検査金額(千円)	7,316	6,395	7,323																																																				
		脳ドック実績																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単独検査</td> <td>件</td> <td>77</td> <td>112</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>千円</td> <td>1,540</td> <td>2,240</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人間ドック (オプション)</td> <td>件</td> <td>56</td> <td>200</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>千円</td> <td>1,008</td> <td>3,600</td> <td>2,340</td> </tr> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">単独検査</td> <td>件</td> <td>22</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>千円</td> <td>440</td> <td>300</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人間ドック (オプション)</td> <td>件</td> <td>121</td> <td>117</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>千円</td> <td>2,178</td> <td>2,106</td> <td>2,295</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		21年度	22年度	23年度	単独検査	件	77	112	29	千円	1,540	2,240	580	人間ドック (オプション)	件	56	200	130	千円	1,008	3,600	2,340	区 分		24年度	25年度	26年度	単独検査	件	22	15	20	千円	440	300	411	人間ドック (オプション)	件	121	117	124	千円	2,178	2,106	2,295							
区 分		21年度	22年度	23年度																																																			
単独検査	件	77	112	29																																																			
	千円	1,540	2,240	580																																																			
人間ドック (オプション)	件	56	200	130																																																			
	千円	1,008	3,600	2,340																																																			
区 分		24年度	25年度	26年度																																																			
単独検査	件	22	15	20																																																			
	千円	440	300	411																																																			
人間ドック (オプション)	件	121	117	124																																																			
	千円	2,178	2,106	2,295																																																			

No.	項目	取組内容	取組年度																														
			20	21	22	23	24	25	26																								
		<p>生き生き健康チェック実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>34</td> <td>25</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>578</td> <td>425</td> <td>323</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> <tr> <td>件数(件)</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>391</td> <td>272</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table>	区分	21年度	22年度	23年度	件数(件)	34	25	19	金額(千円)	578	425	323	区分	24年度	25年度	26年度	件数(件)	23	16	11	金額(千円)	391	272	193							
区分	21年度	22年度	23年度																														
件数(件)	34	25	19																														
金額(千円)	578	425	323																														
区分	24年度	25年度	26年度																														
件数(件)	23	16	11																														
金額(千円)	391	272	193																														
3	未収金対策の推進	<p>未収金の発生を抑制するとともに、電話催告、訪問徴収等督促体制の強化を図ります。</p> <p>(20年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院誓約書の書式更新 身元保証欄を連帯保証を兼ねる書式に変更 支払誓約書の作成 ・文書による催告の強化 <p>(21年度実績)</p> <p>21年度は、20年度より調定額が増加したこともあり、国保・社保収入の未収入の関係から、収入未済額が増加し収納率も下がったが、未収一部負担金においては、僅かであるが20年度を上回っており、引き続き未収金の減額に向けての対応を図ります。</p> <p>(22年度実績)</p> <p>21年度より調定額及び収入済額とも下回る関係から、収入未済額も下回りました。又、収納率は前年度を上回りました。</p> <p>(23年度実績)</p> <p>保険者からの収納が一部遅れたこともあり、収納率が0.7ポイント下がりましたが、患者の収納率は22年度より1.1ポイント上回りました。今後とも未収金対策会議での対応を強化し、未収金の減額に努めます。</p> <p>(24年度実績)</p> <p>2月、3月分の診療にかかる調定額が前年度に比較して伸びたことに伴い収入未済額、未収一部負担金とも増となっており、収納率も0.7パー</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																								
			継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																								

No.	項目	取組内容	取組年度																																																												
			20	21	22	23	24	25	26																																																						
		<p>セントの減となっておりますが、今後収入が見込まれる状況にあります。</p> <p>(25年度実績) 催告文書の見直しや未集金対策会議において、未納者個々の対応策を講じるなど未集金対策を強化し、収納率は前年度を 0.8 ポイント上回りました。今後も様々な対応策を講じながら収納率向上に努めます。</p> <p>(26年度実績) 文書催告、電話催告など強化した結果、前年度と同じ収納率となっております。未収一部負担金に関しては前年度より微増しているため、今後も未収金の回収に努めます。</p> <p>入院・外来収益 (単位：千円、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調定額</th> <th>収入済額</th> <th>収入未済額</th> <th>収納率</th> <th>未収一部負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年度</td> <td>3,064,884</td> <td>2,525,678</td> <td>539,206</td> <td>82.4</td> <td>23,560</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>2,911,587</td> <td>2,452,945</td> <td>458,642</td> <td>84.2</td> <td>18,093</td> </tr> <tr> <td>21年度</td> <td>2,966,118</td> <td>2,461,655</td> <td>504,463</td> <td>83.0</td> <td>17,729</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>2,745,934</td> <td>2,324,448</td> <td>421,486</td> <td>84.7</td> <td>15,209</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>2,533,766</td> <td>2,127,761</td> <td>406,005</td> <td>84.0</td> <td>9,970</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>2,483,510</td> <td>2,067,771</td> <td>415,739</td> <td>83.3</td> <td>12,487</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>2,534,221</td> <td>2,130,666</td> <td>403,555</td> <td>84.1</td> <td>8,628</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>2,441,555</td> <td>2,053,299</td> <td>388,256</td> <td>84.1</td> <td>8,848</td> </tr> </tbody> </table>	区分	調定額	収入済額	収入未済額	収納率	未収一部負担金	19年度	3,064,884	2,525,678	539,206	82.4	23,560	20年度	2,911,587	2,452,945	458,642	84.2	18,093	21年度	2,966,118	2,461,655	504,463	83.0	17,729	22年度	2,745,934	2,324,448	421,486	84.7	15,209	23年度	2,533,766	2,127,761	406,005	84.0	9,970	24年度	2,483,510	2,067,771	415,739	83.3	12,487	25年度	2,534,221	2,130,666	403,555	84.1	8,628	26年度	2,441,555	2,053,299	388,256	84.1	8,848							
区分	調定額	収入済額	収入未済額	収納率	未収一部負担金																																																										
19年度	3,064,884	2,525,678	539,206	82.4	23,560																																																										
20年度	2,911,587	2,452,945	458,642	84.2	18,093																																																										
21年度	2,966,118	2,461,655	504,463	83.0	17,729																																																										
22年度	2,745,934	2,324,448	421,486	84.7	15,209																																																										
23年度	2,533,766	2,127,761	406,005	84.0	9,970																																																										
24年度	2,483,510	2,067,771	415,739	83.3	12,487																																																										
25年度	2,534,221	2,130,666	403,555	84.1	8,628																																																										
26年度	2,441,555	2,053,299	388,256	84.1	8,848																																																										
4	診療報酬点数の適正把握	<p>診療行為の記載漏れ等が発生しないよう努めるとともに、レセプト（診療報酬明細書）点検強化、患者保険証の確認強化等により査定減や返戻の防止を図ります。</p> <p>(20～26年度実績)</p> <p>査定率 (各年3月現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>19年</th> <th>20年</th> <th>21年</th> <th>22年</th> <th>23年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.28%</td> <td>0.23%</td> <td>0.27%</td> <td>0.37%</td> <td>0.35%</td> </tr> <tr> <th>24年</th> <th>25年</th> <th>26年</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.46%</td> <td>0.74%</td> <td>0.55</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	19年	20年	21年	22年	23年	0.28%	0.23%	0.27%	0.37%	0.35%	24年	25年	26年			0.46%	0.74%	0.55			継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																	
		19年	20年	21年	22年	23年																																																									
0.28%	0.23%	0.27%	0.37%	0.35%																																																											
24年	25年	26年																																																													
0.46%	0.74%	0.55																																																													
			継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																																				

No.	項目	取組内容	取組年度						
			20	21	22	23	24	25	26
5	使用料等の検討	<p>文書料などの使用料について、応益性、応能性の見地から適正な額であるか検討を図ります。</p> <p>(20～21年度実績)</p> <p>普通診断書等の文書料、差額ベット料などのほか「初診時特定療養費」導入の可能性について今後とも検討します。</p> <p>(22年度実績)</p> <p>23年度より許可ベッド数を199床以下にすることにより、「初診時特定療養費」は算定できなくなりました。</p> <p>(26年度実績)</p> <p>消費税増税に伴う改定の実施。</p>	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <p>土地や建物の有効活用を図るため、老朽化した未利用施設の売却処分や貸し付け等を検討します。</p>	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(21年度実績)</p> <p>老朽化した医師住宅について国の経済対策を活用して部分改修を行い、看護師等に貸し付けることとしました。</p> <p>(22年度実績)</p> <p>21年度に引き続いて国の経済対策を活用し、単身医師住宅の改修を行いました。</p> <p>(23～26年度実績)</p> <p>医師住宅を、継続して医師以外にも貸付しました。</p>	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
7	医療法上の施設基準の確保	<p>医療法で定められた標準医師数に対して、医師数が70%を下回ると入院基本料が減額されることから、常勤医、出張医の確保に努めます。</p> <p>(20年度実績)</p> <p>3月の入院患者及び外来患者数から、医療法第19条に基づく標準医師数は25人になるが、出張医を含めた換算後の医師数は19.31人であり、標準医師数の70% (17.5人) を下回らないよう医師確保に努めます。</p>	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20年度実績)</p> <p>3月の入院患者及び外来患者数から、医療法第19条に基づく標準医師数は25人になるが、出張医を含めた換算後の医師数は19.31人であり、標準医師数の70% (17.5人) を下回らないよう医師確保に努めます。</p>	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(21年度実績)</p> <p>22年3月において標準医師数の25人に対して、21.67人となり施設基準が確保されています。</p> <p>(22年度実績)</p> <p>23年3月において標準医師数23.54人に対して、出張医の換算により21.41人となり、常勤比率が90.9%で施設基準は確保されています。</p> <p>(23年度実績)</p> <p>24年3月において標準医師数20.87人に対して、出張医の換算により17.68人となり、常勤比率が84.7%で施設基準は確保されています。</p> <p>(24年度実績)</p> <p>25年3月において標準医師数15.16人に対して、出張医の換算により17.63人となり、常勤比率が85.8%で施設基準は確保されています。</p> <p>(25年度実績)</p> <p>26年3月において標準医師数14.96人に対して、出張医の換算により17.96人となり、常勤比率が80.2%で施設基準は確保されています。</p> <p>(26年度実績)</p> <p>27年3月において標準医師数14.10人に対して、出張医の換算により16.66人となり、常勤比率が80.2%で施設基準は確保されています。</p>							
		一般会計繰入金について内容を精査し、ルール化を図ります。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
8	一般会計繰入金のルール化	<p>(20年度実績)</p> <p>「土別市立病院経営改革プラン」達成のため、一般会計からの繰入金のルール化を図りました。</p> <p>○ルール化された新たな繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の建設改良等に要する経費（病院建設に係る元利償還金の繰入割合2/3⇒3/3） ・リハビリテーション医療に要する経費 ・高度医療に要する経費（高度医療機器リース料） ・療養病棟の運営に要する経費 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項目	取組内容	取組年度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<ul style="list-style-type: none"> ・20年度末不良債務解消のための経費 ・公立病院特例債償還に要する経費（繰入割合 元金、利子2/3） <p>(21年度実績)</p> <p>21年度において、繰出し基準に基づく繰入金のなかで、次の通り繰入れルールの見直しを図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療機器賃借料に要する経費（繰入割合 1/2→2/2） ・公立病院特例債償還に要する経費（繰入割合 元金、利子2/3 → 元金、利子3/3） ・病院の建設改良等に要する経費（病院建設以外に係る元利償還の繰入金）（繰入割合 1/2、2/3 → 10/10） <p>(22年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療に要する経費（MRI操作従事者人件費を算定対象とした） ・コンピュータ賃借料（繰入割合 1/2→2/2） ・医師確保対策に要する経費（算定方法の変更） <p>(23～26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22年度までの考え方を基本に対応しました。 							
9	画像診断機器等の有効活用	<p>病院の放射線画像診断機器について民間医療機関等による有効活用を図ります。</p> <p>(23～26年度実績)</p> <p>23年4月よりあさひクリニックにおいて、腹部エコー、心エコー検査を実施。</p> <p>地域医療機関からの依頼によるCT、MRI検査の実施。</p>				継続実施	⇒	⇒	⇒
						継続実施	⇒	⇒	⇒
10	指導管理料の増	<p>指導管理料の請求に係る医師研修等を実施し、算定ルールの周知徹底を図ります。</p> <p>(23年度実績)</p> <p>許可病床を199床以下にしたことに伴う算定変更及び開始項目に関する周知を実施しました。</p>				実施	⇒	⇒	⇒
						実施	⇒	⇒	⇒

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
11	外来再診料及び各管理加算の取得	一般病床が 200 床未満になることにより、外来の再診料及び各管理加算の取得を図ります。				実施	⇒	⇒	⇒
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(23 年度実績)</div> 平成 23 年 5 月 1 日より許可病床を 230 床から 199 床へと規模を縮小したことにより「外来診療料」が算定できなくなりましたが、「再診料」、「外来管理加算」及び「特定疾患療養管理料」などが算定できることとなり、総体として外来収益の増加につながりました。				実施	⇒	⇒	⇒

(3) 支出の抑制

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度							
			20	21	22	23	24	25	26	
1	病院人員配置の見直し	病床数の削減に伴い、病院の人員配置の見直しを行ないます。	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		(20~26年実績)	各年4月1日現在							
		区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
		看護職	143	130	123	116	111	118	120	123
		コメディカル	40	36	38	38	36	39	38	39
事務局	19	18	15	15	15	12	13	13		
計	202	184	176	169	162	169	171	175		
		※コメディカルとは医師、看護師以外の医療従事者をいいます。 ※25年4月から管理栄養士2名について事務局からコメディカルへ区分変更 ※26年4月から看護職に看護助手が含まれています。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
2	給料表の見直し	社会経済情勢や他の自治体病院の給与等を踏まえ、給料表の見直しを行ないます。	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		(20~24年度実績)	医療職給料表の導入検討。具体的な対応は今後となります							
		(25年度実績)	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	実施	⇒	
3	勤務体制の見直し	看護体制の3交代制から2交代制への移行及び病院の診療体制に見合った職員の配置を図ります。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		(20年度実績)	H20.6.1 から3交代制から2交代制へ随時移行。							
4	時間外勤務手当の抑制	職員の勤務状況、業務内容を常に精査し時間外勤務手当の抑制に努めます。	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																				
			20	21	22	23	24	25	26																														
		<p>(20~26 年度実績)</p> <p>20年度は病棟引継事務の軽減、職員数の減等から時間外勤務手当が減となり、21年度では職員減の影響もあり幾分増加となりましたが、22年度以降減少しています。平成24年度は病棟の運用変更、心臓カテーテル検査・治療の再開もあり増となりました。25年度、26年度は病棟再編があり時間数の増につながった。 (単位：時間、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外勤務時間</td> <td>24,905</td> <td>15,819</td> <td>15,875</td> <td>14,147</td> </tr> <tr> <td>時間外勤務手当</td> <td>59,611</td> <td>37,276</td> <td>38,398</td> <td>34,183</td> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> <tr> <td>時間外勤務時間</td> <td>12,252</td> <td>13,045</td> <td>15,942</td> <td>18,968</td> </tr> <tr> <td>時間外勤務手当</td> <td>30,804</td> <td>32,011</td> <td>39,380</td> <td>45,917</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	時間外勤務時間	24,905	15,819	15,875	14,147	時間外勤務手当	59,611	37,276	38,398	34,183	区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	時間外勤務時間	12,252	13,045	15,942	18,968	時間外勤務手当	30,804	32,011	39,380	45,917	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
区 分	19年度	20年度	21年度	22年度																																			
時間外勤務時間	24,905	15,819	15,875	14,147																																			
時間外勤務手当	59,611	37,276	38,398	34,183																																			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度																																			
時間外勤務時間	12,252	13,045	15,942	18,968																																			
時間外勤務手当	30,804	32,011	39,380	45,917																																			
		<p>外部委託について更なる推進を図るとともに、現在外部委託しているものにあっても委託内容を精査し、経費節減を図ります。</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																														
5	外部委託の推進	<p>(20 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在業務しているものについて見直しを行いました。 6件 △1,471 千円 <p>(21 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従前まで、夜間及び土日祝日のボイラー業務を民間に委託してきましたが、22年4月から全面委託することとしました。 ・循環器系X線撮影装置(シネアンギオ)及び関連装置保守点検の停止。 △17,010 千円 <p>(22 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟、外来クランク業務委託において、直営業務にした場合と比較した結果、直営では「医師事務作業補助体制加算」を算定できることもあり、23年度から業務委託から直営に変更することとしました。 <p>(23 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5階病棟の縮小に伴い、清掃、警備、ボイラー管理業務委託の一部見直しを行いました。 	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																														

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		病棟・外来クリニック(注 14)業務委託から直営による対応				実施	⇒	⇒	⇒
		(23年度実績)				実施	⇒	⇒	⇒
		・23年4月1日より、病棟・外来クリニック業務について委託から直営に変更しました。							
		スポット契約の変更による削減				実施	⇒	⇒	⇒
		(23年度実績)							
		・核医学診断装置(RI)について使用頻度を勘案し、定期点検からスポット点検に変更しました。				実施	⇒	⇒	⇒
		(25年度実績)							
		・核医学診断装置(RI)の廃止							
6	薬品・材料費の削減	薬剤・材料の他院との共同購入の検討や購入コスト削減に向けての対応を図るとともに、遊休品、死蔵品の発生防止を図り、適正な在庫管理に努めます。	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		(20年度実績)							
		・外来処方箋の発行について完全院外実施(H20.10.1)							
		・定数配置薬品及び材料費の定数管理を見直し、使用頻度の少ない薬品・材料を定数管理から除外しました。							
		(21年度実績)							
		・21年度には、化学療法の増及び内視鏡センターの稼働状況の増もあり、薬品及び材料費の使用は、20年度を上回る結果となりました。							
		(22年度実績)							
		・21年度と同じ考え方で経費削減に努めました。							
		(23年度実績)							
		・入院患者数の減などから、薬品費、医療用材料費とも前年度を大きく下回りました。							
		(24年度実績)							
		・入院患者数の減などから、薬品費、医療用材料費とも前年度を下回りました。							

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度						
			20	21	22	23	24	25	26
		<p>(25 度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院患者数の増などから、薬品費が増、心臓カテーテル治療等の増加に伴い材料費も前年度を上回りました。 <p>(26 度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院患者数の減などから、材料費は減となったが、使用薬品、患者の状況の変化により薬品費は前年度を上回りました。 							
7	外来処方箋の調剤を完全院外実施	<p>外来処方箋の調剤を完全に院外実施とすることにより、薬品購入を減らすとともに、薬局業務の見直しを図ります。</p>	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年10月1日から外来処方箋の調剤について夜間を除き院外へ移行。 	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
8	管理的経費の節減	<p>光熱水費、消耗品費、印刷費などの管理的経費にあっては、常日頃より経費節減に努めるとともに、購入単価についても精査を図り、コスト削減に努めます。</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		<p>(20 年度実績)</p> <p>主な管理経費は下記の通りであるが、A重油は使用量が減少したが単価アップの影響から使用額に大きな変動はない状況となり、全体的には病床数減の影響もあり使用額が減少となりました。</p>							
		<p>(平成 21 年度実績)</p> <p>A重油及び電気料金とも前年度を上回る使用実績にありましたが、20年度の燃料単価高騰の影響も収まった関係から、使用額は前年度を下回りました。</p> <p>(平成 22 年度実績)</p> <p>A 重油単価が前年度の（54～68 円）から(68 円～80 円)となり1割程度値上がりするとともに、給油量の増加により使用額が増加しました。</p> <p>(平成 23 年度実績)</p> <p>A重油の使用量は、22 年度と比較してほぼ横ばいであったが、単価において 22 年度は多くが 70 円台であったが、23 年度は最高額が 89 円となるなど 80 円台で推移し、500 万円近い支出増となりました。</p>	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	項目	取組内容	取組年度																																																																		
			20	21	22	23	24	25	26																																																												
		<p>(平成 24 年度実績)</p> <p>夏場の電力不足から積極的な節電を推進したが、医療機器の増もあって電気料金は前年より 100 万円近く増加し、A 重油の使用量は微減となったものの、単価増に伴い料金は微増となりました。</p> <p>上・下水道料は患者数の減少も伴って使用量が減少し、400 万円の減となりました。</p> <p>(平成 25 年度実績)</p> <p>通年の節電を推進したが、シネアングオ室の稼動に伴う使用量の増加に加え、料金改定により電気料金は前年より 360 万円近く増加し、A 重油は単価の増に伴い 380 万円近く増加しました</p> <p>(平成 26 年度実績)</p> <p>療養病棟の再開もあり重油、上下水道の使用量が伸びるとともに電気、上下水道料金が増加した。液体酸素については施設メンテナンスにより消費量の削減に務めた。</p> <table border="1" data-bbox="421 826 1384 1337"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th>19 年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A 重油</td> <td>使用量</td> <td>475kl</td> <td>418kl</td> <td>441kl</td> <td>474kl</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>36,185 千円</td> <td>36,195 千円</td> <td>29,668 千円</td> <td>36,561 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電 気</td> <td>使用量</td> <td>1,693/KWH</td> <td>1,583/KWH</td> <td>1,653/KWH</td> <td>1,722/KWH</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>24,914 千円</td> <td>25,976 千円</td> <td>24,341 千円</td> <td>24,915 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 道</td> <td>使用量</td> <td>39 千m3</td> <td>40 千m3</td> <td>44 千m3</td> <td>38 千m3</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>8,009 千円</td> <td>8,223 千円</td> <td>7,874 千円</td> <td>7,704 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下水道</td> <td>使用量</td> <td>56 千m3</td> <td>55 千m3</td> <td>54 千m3</td> <td>52 千m3</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>8,338 千円</td> <td>8,245 千円</td> <td>8,142 千円</td> <td>7,771 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">液体酸素</td> <td>使用量</td> <td>35 千m3</td> <td>30 千m3</td> <td>34 千m3</td> <td>33 千m3</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>9,042 千円</td> <td>7,694 千円</td> <td>8,841 千円</td> <td>8,469 千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	A 重油	使用量	475kl	418kl	441kl	474kl	使用額	36,185 千円	36,195 千円	29,668 千円	36,561 千円	電 気	使用量	1,693/KWH	1,583/KWH	1,653/KWH	1,722/KWH	使用額	24,914 千円	25,976 千円	24,341 千円	24,915 千円	水 道	使用量	39 千m3	40 千m3	44 千m3	38 千m3	使用額	8,009 千円	8,223 千円	7,874 千円	7,704 千円	下水道	使用量	56 千m3	55 千m3	54 千m3	52 千m3	使用額	8,338 千円	8,245 千円	8,142 千円	7,771 千円	液体酸素	使用量	35 千m3	30 千m3	34 千m3	33 千m3	使用額	9,042 千円	7,694 千円	8,841 千円	8,469 千円						
区分		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度																																																																
A 重油	使用量	475kl	418kl	441kl	474kl																																																																
	使用額	36,185 千円	36,195 千円	29,668 千円	36,561 千円																																																																
電 気	使用量	1,693/KWH	1,583/KWH	1,653/KWH	1,722/KWH																																																																
	使用額	24,914 千円	25,976 千円	24,341 千円	24,915 千円																																																																
水 道	使用量	39 千m3	40 千m3	44 千m3	38 千m3																																																																
	使用額	8,009 千円	8,223 千円	7,874 千円	7,704 千円																																																																
下水道	使用量	56 千m3	55 千m3	54 千m3	52 千m3																																																																
	使用額	8,338 千円	8,245 千円	8,142 千円	7,771 千円																																																																
液体酸素	使用量	35 千m3	30 千m3	34 千m3	33 千m3																																																																
	使用額	9,042 千円	7,694 千円	8,841 千円	8,469 千円																																																																

No.	項 目	取 組 内 容	取 組 年 度																																																																		
			20	21	22	23	24	25	26																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th></th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A 重油</td> <td>使用量</td> <td>471kl</td> <td>460kl</td> <td>465kl</td> <td>476kl</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>41,479 千円</td> <td>41,638 千円</td> <td>45,416 千円</td> <td>43,048 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電 気</td> <td>使用量</td> <td>1,657/KWH</td> <td>1,686/KWH</td> <td>1,743/KWH</td> <td>1,720/KWH</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>25,790 千円</td> <td>26,727 千円</td> <td>30,334 千円</td> <td>32,227 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 道</td> <td>使用量</td> <td>40 千m3</td> <td>29 千m3</td> <td>30 千m3</td> <td>33 千m3</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>8,225 千円</td> <td>5,979 千円</td> <td>6,193 千円</td> <td>6,814 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下水道</td> <td>使用量</td> <td>51 千m3</td> <td>39 千m3</td> <td>40 千m3</td> <td>42 千m3</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>7,616 千円</td> <td>5,807 千円</td> <td>6,193 千円</td> <td>6,418 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">液体酸 素</td> <td>使用量</td> <td>38 千m3</td> <td>40 千m3</td> <td>37 千m3</td> <td>24 千m3</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>9,809 千円</td> <td>10,443 千円</td> <td>9,541 千円</td> <td>6,253 千円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	A 重油	使用量	471kl	460kl	465kl	476kl	使用額	41,479 千円	41,638 千円	45,416 千円	43,048 千円	電 気	使用量	1,657/KWH	1,686/KWH	1,743/KWH	1,720/KWH	使用額	25,790 千円	26,727 千円	30,334 千円	32,227 千円	水 道	使用量	40 千m3	29 千m3	30 千m3	33 千m3	使用額	8,225 千円	5,979 千円	6,193 千円	6,814 千円	下水道	使用量	51 千m3	39 千m3	40 千m3	42 千m3	使用額	7,616 千円	5,807 千円	6,193 千円	6,418 千円	液体酸 素	使用量	38 千m3	40 千m3	37 千m3	24 千m3	使用額	9,809 千円	10,443 千円	9,541 千円	6,253 千円						
区 分		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度																																																																
A 重油	使用量	471kl	460kl	465kl	476kl																																																																
	使用額	41,479 千円	41,638 千円	45,416 千円	43,048 千円																																																																
電 気	使用量	1,657/KWH	1,686/KWH	1,743/KWH	1,720/KWH																																																																
	使用額	25,790 千円	26,727 千円	30,334 千円	32,227 千円																																																																
水 道	使用量	40 千m3	29 千m3	30 千m3	33 千m3																																																																
	使用額	8,225 千円	5,979 千円	6,193 千円	6,814 千円																																																																
下水道	使用量	51 千m3	39 千m3	40 千m3	42 千m3																																																																
	使用額	7,616 千円	5,807 千円	6,193 千円	6,418 千円																																																																
液体酸 素	使用量	38 千m3	40 千m3	37 千m3	24 千m3																																																																
	使用額	9,809 千円	10,443 千円	9,541 千円	6,253 千円																																																																

※用語解説

注1	ガイドライン	指針、手引き。
注2	ネットワーク	連携、網。
注3	コンビニ受診	外来診療をやっていない休日や夜間に救急外来を受診される緊急性のない軽症患者の行動のこと。
注4	クリティカルパス	疾患ごとに標準的治療の診療計画を立て、入院してから退院までの管理を行うこと。
注5	NST(栄養サポートチーム)	低栄養など栄養管理の必要な患者に対して医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなどがチームで栄養管理を行い、患者の治癒力を向上させて早期回復を目指すこと。
注6	インシデント	患者に障害を及ぼすことはなかったが、日常診療でヒヤリとしたり、ハットした事象を指す。
注7	アクシデント	インシデントの反対の意で、患者に極めて微小な擦過傷から死亡（自殺を含む）など、患者に僅かでも何らかの影響が生じたもの全てを指す。
注8	コメディカル	医師・看護師以外の医療従事者をいう。
注9	フェスタ	祭りの意。
注10	PEG（ペグ）	経皮内視鏡的胃ろう造設術の意。口から食事をとれない、飲み込む力がない患者のために、直接胃に栄養を送り込むために、小さな「口」をつくる手術のこと。
注11	フリーペーパー	広告収入を元に、無料で読者に配布される定期刊行物のこと。
注12	ストーマ	消化管や尿路の疾患などにより、腹部に作った便又は尿の排泄口のこと。人工肛門、人工膀胱ともいう。
注13	カンファレンス	一般的には会議や研修の意のこと。医療関係では症例検討会の意などで用います。
注14	クラーク	患者さんと医師・看護師の間に立って事務作業を補助するスタッフのこと。

5 業務予定量及び業務予定数値

【業務予定量】

(単位：床、人、円)

年 度 区 分		財 政 計 画								B - A	備 考	
		平成20年度 決 算	平成21年度 決 算	平成22年度 決 算	平成23年度 決 算	平成24年度 決 算	平成25年度 決 算	平成26年度 改革プランA	平成26年度 決 算 B			
許 可 病 床 数	一般病床	200	200	200	179	179	179	179	169	△ 10		
	療養病床	30	30	30	20	20	20	20	30	10		
	合 計	230	230	230	199	199	199	199	199	0		
診 療 日 数	入 院	365	365	365	366	365	365	365	365	0		
	外 来	244	244	243	244	245	245	245	245	0		
年 間 延 患 者 数	入 院	一般病床	52,543	52,701	48,044	40,482	38,389	40,440	48,180	35,988	△ 12,192	
		療養病床	10,200	9,513	6,822	4,864	1,179	0	6,570	3,806	△ 2,764	
		小 計	62,743	62,214	54,866	45,346	39,568	40,440	54,750	39,794	△ 14,956	
	外 来	157,973	154,077	155,876	142,006	137,186	130,256	154,350	123,881	△ 30,469		
	合 計	220,716	216,291	210,742	187,352	176,754	170,696	209,100	163,675	△ 45,425		
一 日 平 均 患 者 数	入 院	一般病床	144.0	144.3	131.6	110.6	105.2	110.8	132.0	98.6	△ 33.4	
		療養病床	27.9	26.1	18.7	13.3	3.2	0.0	18.0	10.4	△ 7.6	
		小 計	171.9	170.4	150.3	123.9	108.4	110.8	150.0	109.0	△ 41.0	
	外 来	647.4	636.7	641.5	582.0	559.9	531.7	630.0	505.6	△ 124.4		
	合 計	819.3	807.1	791.8	705.9	668.3	642.5	780.0	614.6	△ 165.4		
一 人 一 日 当 たり 診 療 収 入	入院(一般)	32,172	29,939	32,131	35,297	37,126	37,246	30,800	38,222	7,422		
	(療養)	13,328	13,365	13,149	13,348	14,301	0	13,400	16,371	2,971		
	計	29,109	29,939	29,771	32,943	36,445	37,246	28,712	36,133	7,421		
	外 来	6,870	7,162	7,137	7,323	7,591	7,892	7,160	8,102	942		

【業務予定数値】

年 度 区 分		財 政 計 画								B - A	備 考
		平成20年度 決 算	平成21年度 決 算	平成22年度 決 算	平成23年度 決 算	平成24年度 決 算	平成25年度 決 算	平成26年度 改革プランA	平成26年度 決 算 B		
病 床 利 用 率	一般病床	67.5	72.2	65.8	61.2	58.7	61.9	73.7	56.7	△ 17.0	
	療養病床	93.2	86.9	62.3	63.8	16.2	0.0	90.0	41.7	△ 48.3	
	計	70.6	74.1	65.4	61.5	54.5	55.7	75.4	54.8	△ 20.6	
経 常 収 支 比 率		113.4	96.5	96.5	95.6	96.9	96.6	96.7	99.1	2.4	
医 業 収 支 比 率		86.3	88.2	81.7	83.1	83.9	80.6	88.1	79.9	△ 8.2	

6 収益的收入及び支出内訳表

(単位：百万円)

区分	年度					年度					画	画	B-A
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度				
① 病院事業収益	4,379	3,771	3,704	3,341	3,285	3,405	3,290	3,478	188				
(1) 医療収益	3,148	3,224	3,001	2,785	2,735	2,784	2,932	2,688	△244				
ア 入院収益	1,827	1,863	1,633	1,494	1,442	1,506	1,572	1,438	△134				
イ 外来収益	1,085	1,103	1,113	1,040	1,042	1,028	1,105	1,004	△101				
ウ その他医療収益	115	121	123	130	130	129	125	125	0				
エ 他会計負担金	121	137	132	121	121	121	121	121	0				
(2) 医療外収益	1,231	547	703	556	550	621	367	790	423				
ア 他会計補助金	908	264	429	347	353	468	246	401	155				
イ 補助金	19	18	18	17	19	19	16	20	4				
ウ 負担金交付金	271	244	234	171	158	114	89	186	97				
エ 患者外給食収益	1	1	1	1	1	1	1	1	0				
イ その他医療外収益	32	20	21	20	19	19	15	182	167				

【収益的支出】

区分	年度					年度					画	画	B-A
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度				
② 病院事業費用	3,867	3,907	3,839	3,495	3,389	3,523	3,403	3,469	66				
(1) 医療費用	3,646	3,656	3,673	3,350	3,260	3,453	3,318	3,364	46				
ア 給与	1,609	1,612	1,536	1,447	1,426	1,475	1,410	1,492	82				
イ 材料	611	678	634	543	523	561	598	550	△48				
ウ 経価	1,249	1,203	1,335	1,201	1,174	1,284	1,176	1,150	△26				
エ 減価償却費	177	163	168	159	137	133	134	168	34				
イ 資産消費									4				
(2) 医療外費用	221	251	166	145	129	70	85	105	20				
ア 支払利息及び企業債取扱い費用	140	114	102	88	76	13	23	9	△14				
イ 企業債利息	124	111	99	86	74	11	18	7	△11				
ウ 繰延勘定償却	16	3	3	2	2	2	5	2	△3				
エ 繰延勘定償却	6	5	6	4	3	4	4	0	△4				
イ 雑損失・消費税	75	132	58	53	50	53	58	96	38				
(3) 予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
経常損益	512	△136	△135	△154	△104	△118	△113	9	122				
特別利益	0	100	100	100	100	101	100	104	4				
特別損失	13	12	31	8	31	13	11	125	114				
特別損益	△13	88	69	92	69	88	89	△21	△110				
純損益	499	△48	△66	△62	△35	△30	△24	△12	12				
累積欠損金	5,070	5,118	5,184	5,246	5,281	5,311	5,200	5,311	111				

7 資本的收入及び支出内訳書

【資本的收入】

区分	年度					年度					画	画	B-A
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度				
③ 資本的收入	1,161	484	392	370	1,472	596	403	494	91				
(1) 企業債	880	131	63	53	1,136	65	63	149	86				
(2) 出資金	4	12	22	27	31	18	26	13	△13				
(3) 負担金	271	337	306	290	264	501	313	331	18				
ア 建設改良	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
イ 企業債元金	271	337	306	290	264	501	313	331	18				
(4) 補助金	0	0	0	0	38	6	0	0	0				
(5) 固定資産売却代金・投資償還金・寄付金	6	4	1	0	3	6	1	1	0				

【資本的支出】

区分	年度					年度					画	画	B-A
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度				
④ 資本的支出	534	616	524	479	1,584	711	518	520	2				
(1) 建設改良費	3	155	67	60	106	71	63	178	115				
ア 改良修繕費・資産購入費	3	155	67	60	106	71	63	178	115				
(2) 企業償還金	525	447	435	392	1,444	616	428	328	△100				
(3) 投資	6	14	22	27	34	24	27	14	△13				

8 不良債務額及び特別債残高

区分	年度					年度					画	画	B-A
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度				
当年度純損益	499	△48	△66	△62	△35	△30	△24	△12	12				
当年度資本的収支過不足額	627	△132	△132	△109	△112	△115	△115	△26	89				
内部留保資金	1,126	△180	△198	△171	△147	△145	△139	△38	101				
当年度資金過不足額 (△は不良債務額)	1,94	180	198	171	147	145	146	24	△122				
当年度未資金過不足額 (△は資金不足額)	1,320	0	0	0	0	0	7	△14	△21				
特別債残高	700	600	500	400	300	0	100	0	△100				